

市町村名		南大東村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	健康診査用機材搬送事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (11) - イ	
担当部課名	福祉民生課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 - 9	
事業内容	集団検診に使用する検診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料・検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診等が安定的に実施できるよう環境を整える事により、安住促進を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		1,267	1,094			
			822	1,172			
			445	78			
			-				
	B. 執行済額		822	1,172			
	うち交付金充当額		657	937			
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%			
	予算の状況の説明		胸部レントゲン車運搬委託料 822,340円 検診スタッフ渡航費用委託料（結核・肺がん検診、大腸がん検診、婦人検診スタッフ）349,900円 合計1,172,240円				
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・海上輸送運賃の補助 ・検診スタッフの渡航費補助	目標	（ 補助の実施 ）	（ 補助の実施 ）	（ ）	（ ）	
		実績	補助の実施	補助の実施			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・地元に集団検診用のレントゲン設備がなく、レントゲン車を搬入することが出来、受診者からも好評で、今後も継続しながら健診事業の充実を図りたい。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	集団検診受診者	目標	（ 325人 ）	（ 570人(55.1%) ）	（ 570人(55.1%) ）	（ ）	（ ）
		実績		502人(48.5%)	456人(44.1%)		
	[参考指標] 胸部レントゲン撮影者数	目標	（ - ）	（ 570人(55.1%) ）	（ 570人(55.1%) ）	（ ）	（ ）
		実績		376人	416人		
	進捗状況説明	平成25年度集団検診と同時日程を予定していたが、台風の影響で日程変更により、胸部レントゲン車搬入が先だったため、昨年と同様別日程での検診となった。対象者を職場検診も含め、計上した。					

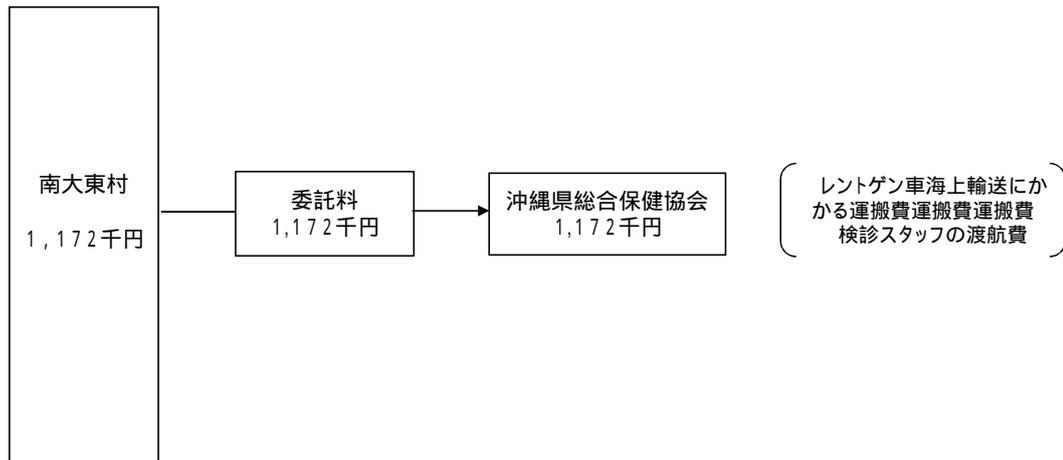
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	離島への集団検診機関が、1ヶ所しかなく、環境の変化(台風時期)を避けて、実施したいが、検診機関の都合により、胸部レントゲン車搬入時期を村で指定できない状況がある。(4月～8月まで沖縄本島の学校等が優先されているため、検診車輛が空かない。)今回も北大東村と同時期に行い、移送費の軽減に繋がった。	島内の県立診療所のレントゲンを検診用に利用できれば移送費用の削減、計画的検診が可能になる。その交渉を沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの病院管理の方へ行った結果、可能と承諾を得られた。今後、詳細条件(時期、費用等)の整備を行い実施する予定にある。

今後の取り組み方針

結核や肺がん等の肺の病気の早期発見、早期治療に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,172	1,172	937	235	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている財団法人である。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南大東村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 -	専門病院受診渡航費助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
				- 9

事業内容
 沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		5,685		
	(b)予算現額		2,913			
	(c)増減額(b-a)		2,772			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		2,913			
	B.執行済額		2,913			
	うち交付金充当額		2,331			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	当初予算では204人を見込んでいましたが実績で163人と大きく下回った。 患者 134人 2,426,410円 付添人29人 487,412円 合計2,913,822円 (内急患空輸患者11人・139,995円、付添人7人・84,519円)				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
専門病院往復の渡航費の助成	目標	()	(204人)	()	()
	実績		163人		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	村広報誌、住民説明会等で村民に周知し平成25年6月1日から渡航費助成事業を開始し、治療の為通院又は入院・治療を遅れることなく誘導し、渡航費の助成を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標	()	()	(204人)	()
	実績			163人		
[参考指標] 南大東診療所の島外医療機関の紹介状発行見込み件数	目標	()	()	()	()	()
	実績			264人		
進捗状況説明	村広報誌、住民説明会等で村民に周知し平成25年6月1日から渡航費助成事業を開始し、治療の為通院又は入院・治療を遅れることなく誘導し、渡航費の助成を行った。					

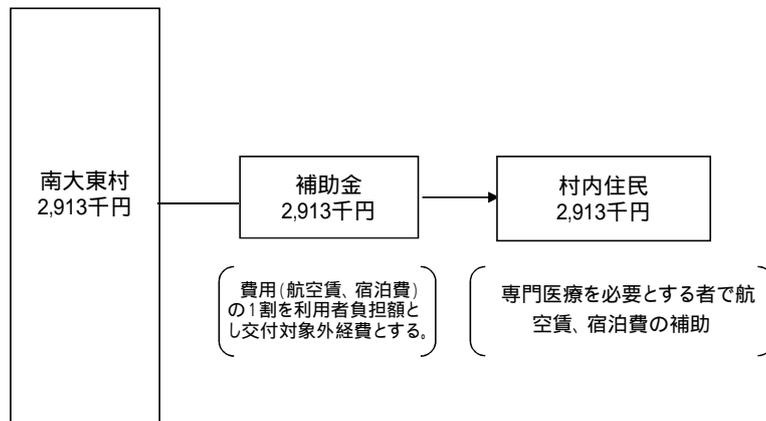
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	申請書に添付書類として、受診する医療機関の領収書・航空賃(南大東那覇)又は船舶の領収書・宿泊施設の領収書(1泊6千円以内2泊を限度で受診日及び前日。退院日)尚、搭乗券も添付。費用の1割は自己負担とする。沖縄本島の医療機関の診断書を発行してもらおうのを高齢者は忘れる事が多いため、書類を揃えての申請に時間を要している。	村内での治療が出来ないことが前提のことから、南大東医師の紹介状の封筒(宛名に病院名等記載で診療情報提供所在中 患者氏名が記入されたもの)のコピーを診断書の替わりとして添付することで、申請を漏れることなくできる事と思われる。

今後の取り組み方針

今後も島内診療所において、診療処置が困難な患者や、専門治療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、継続して専門病院の治療が出来、早期治療、健康増進に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,205	2,913	2,331	582	292



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。 費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南大東村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	シュガートレイン復活夢実現事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - ア	
担当部課名	産業課	事業実施（予定）年度	平成25年度～平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 9	
事業内容	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った"さとうきび列車"は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		15,750			
		(b)予算現額		14,700			
		(c)増減額(b-a)		1,050			
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)			14,700			
	B.執行済額			14,700			
	うち交付金充当額			11,760			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差額は執行入札残で 1,050千円となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	基本調査・計画の実施	目標	()	(基本調査・計画)	()	()	
		実績		基本調査・計画			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	検討委員会を設立し、鉄軌道の概略検討、運営に関する計画を検討し今後について方向性を決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	基本調査・計画の実施	目標	()	()	(基本調査・計画)	()	()
		実績			基本調査・計画		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	委託業務にてシュガートレインのアンケート調査を村民や島外者から聴取を行った。概算工事費、維持管理費等の算出により費用対効果の検証も行った。					

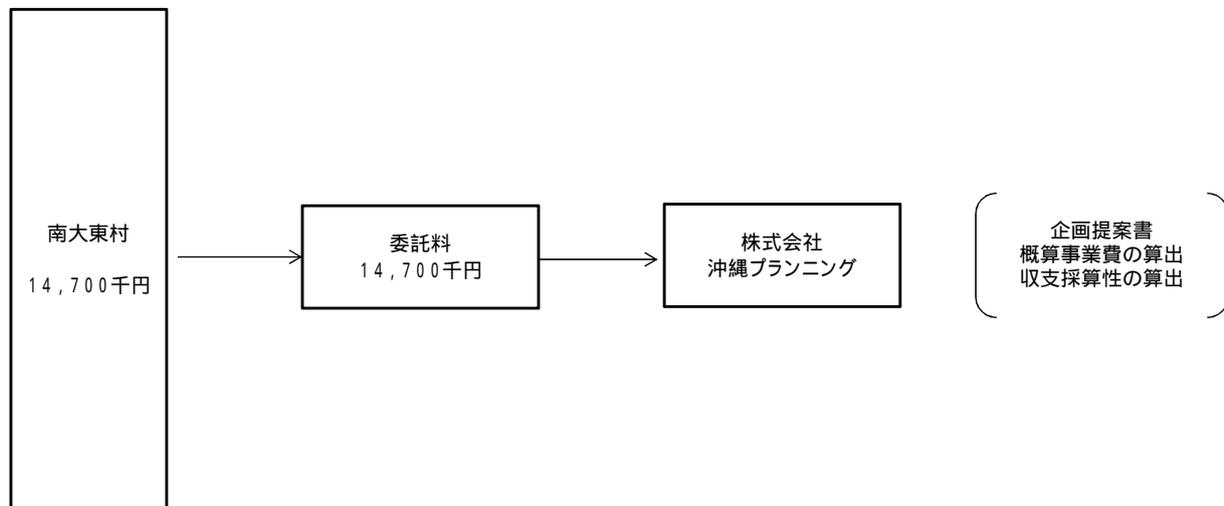
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	推進上の留意点としては、調査段階であったため費用対効果の面での村民に対する不安の面を伝えることができなかった。シュガートレインの復活、運営には村民の協力が不可欠となってくる。調査結果も出ているので今後村民にしっかり伝えられるようにしたい。	村の観光客誘客に貢献度数が期待されている本計画なので、計画企画の検討を慎重に重ねて行く。アンケートの結果の中で反対意見もあるので特に費用対効果の面で不安な人が多いので問題が出ないよう検討委員会ですっきりした事業計画等を作成し実施していく。

今後の取り組み方針

本事業計画は一括交付金特別枠事業として実施していく。調査検討業務の報告を受け、報告内容で懸念されている各種事項についてさらなる検討委員会等を通して事業推進していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,700	14,700	11,760	2,940	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名委員会にて企業組織、実績、知識等を 助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、 支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南大東村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 星野洞楽々歩道整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - ア
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 9

事業内容
観光施設として人気の高い星野洞は、入洞帰路が急勾配なため、入洞者に不便を来している。高齢者等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができるため、移動式歩道を整備する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額		5,050			
	(b)予算現額		4,095			
	(c)増減額(b-a)		955			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		4,095			
	B.執行済額		4,095			
	うち交付金充当額		3,276			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	当初予算額と予算現額の差額は執行入札残で 955千円となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		基本調査・計画の実施	目標 ()	()	基本設計・実施設計 ()	()
	実績			基本設計・実施設計		
	目標 ()	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	測量設計委託業務において、移動式遊歩道の設計書、工事積算書の作成。					

成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標 ()	()	基本設計・実施設計 ()	()	()
	実績			基本設計・実施設計		
	(参考指標)	目標 ()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	測量設計委託業務で移動式遊歩道の設計書、工事積算書が作成された。					

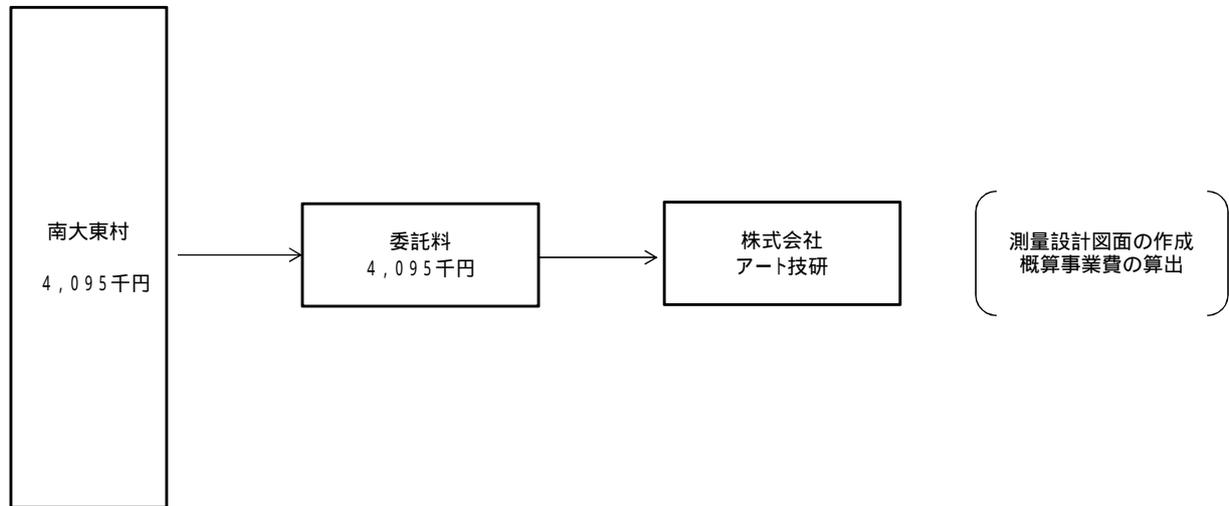
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設を運営しながら工事の執行を行うことで観光客に不快感を与えることになる。その対策として可能な限り入洞時間等を調整し支障のないようにする。	洞窟入口から鍾乳洞の所までの通路や壁ががコンクリートのため殺風景になっており壁に写真や島の歴史等のポスター展示を検討する。洞窟内外に設置してほしい物、洞窟を活用したイベント等を入洞者等から意見聴取し検討実施していく。

今後の取り組み方針

洞窟部分が観光施設として整備されていますが、地上部の自然森林を活用して散策遊歩道等を整備して、星野洞公園としての観光施設を推進していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,095	4,095	3,276	819	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名委員会にて企業組織、実績、知識等を 助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、 支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		南大東村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 大池地区水辺環境保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (12) - ア		
	担当部課名	産業課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 - 9	
事業内容	本村には大小様々な池が点在し、その中でも大池と呼ばれる池が最大規模となっている。現在の池は水草が繁茂し景観を損なうとともに、生態系への影響や環境の保全の点からも課題となっている。そこで水草を除去し水路の汚泥を浚渫し水質の向上と生態系保全を図り、さらに池にカヌー等を浮かべ水に親しむ観光の資源となりうるような環境づくりを目的とする。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度		24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
		(a) 当初予算額	74,098	-	50,593		
		(b) 予算現額	75,105	-	59,052		
		(c) 増減額 (b-a)	1,007	-	8,459		
		(d) 繰越額	-	37,526	-		
	A. 計 (b+d)		75,105	37,526	59,052		
	B. 執行済額		37,579	37,526	59,052		
	うち交付金充当額		30,042	30,042	47,241		
	次年度繰越額		3,726	0	0		
	執行率（%）(B/A)		50.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		本事業は平成24年度から平成28年度までの5年計画の水辺の環境整備及び観光資源の開発を目的とした事業であるが早期完了に向け、工事費を当初予算50,593千円であったが8,459千円を増額補正した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
	大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫	目標	水草の除去 水路汚泥浚渫	水草の除去 水路汚泥浚渫	()	()	
		実績	水草の除去 水路汚泥浚渫	水草の除去 水路汚泥浚渫			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	計画どおりの環境整備工事が達成できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫	目標	()	水草の除去 水路汚泥浚渫	水草の除去 水路汚泥浚渫	()	()
		実績		水草の除去 水路汚泥浚渫	水草の除去 水路汚泥浚渫		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	計画どおりの環境整備工事が達成できた。						

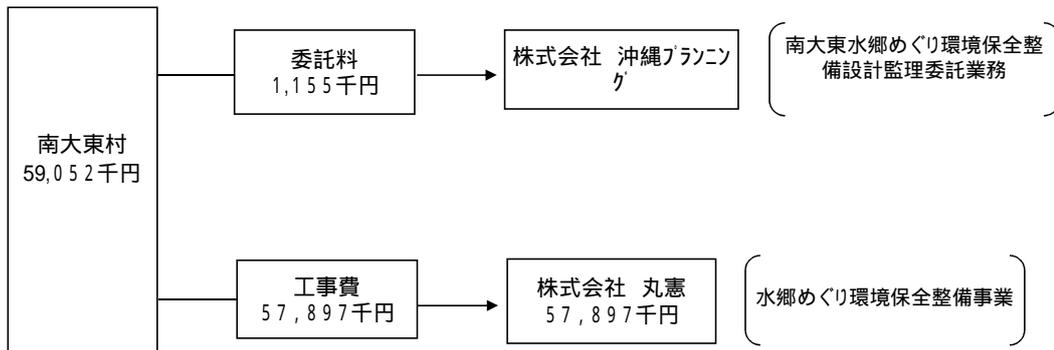
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	水草の除去、汚泥の浚渫は予定どおり竣工できているが、除去、浚渫したあと周辺から進入してきている。	水草の除去は水路面積以上を除去することにより施工後への進入を鈍化抑制することができる。

今後の取り組み方針

本事業は特殊作業等により事業費用が大きく継続事業として計画施工しているが、優先事業として位置づけられてなく、年度計画の下位で調整事業的に置かれ計画施工が出来ていない。早期完了を目指す必要があることから事業費を確保し計画施工を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
59,052	59,052	47,241	11,811	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札方式を採用しており選定方法は妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は、事業内容に見合った適正な規模であると考え
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、事業目的に即しているものと考え

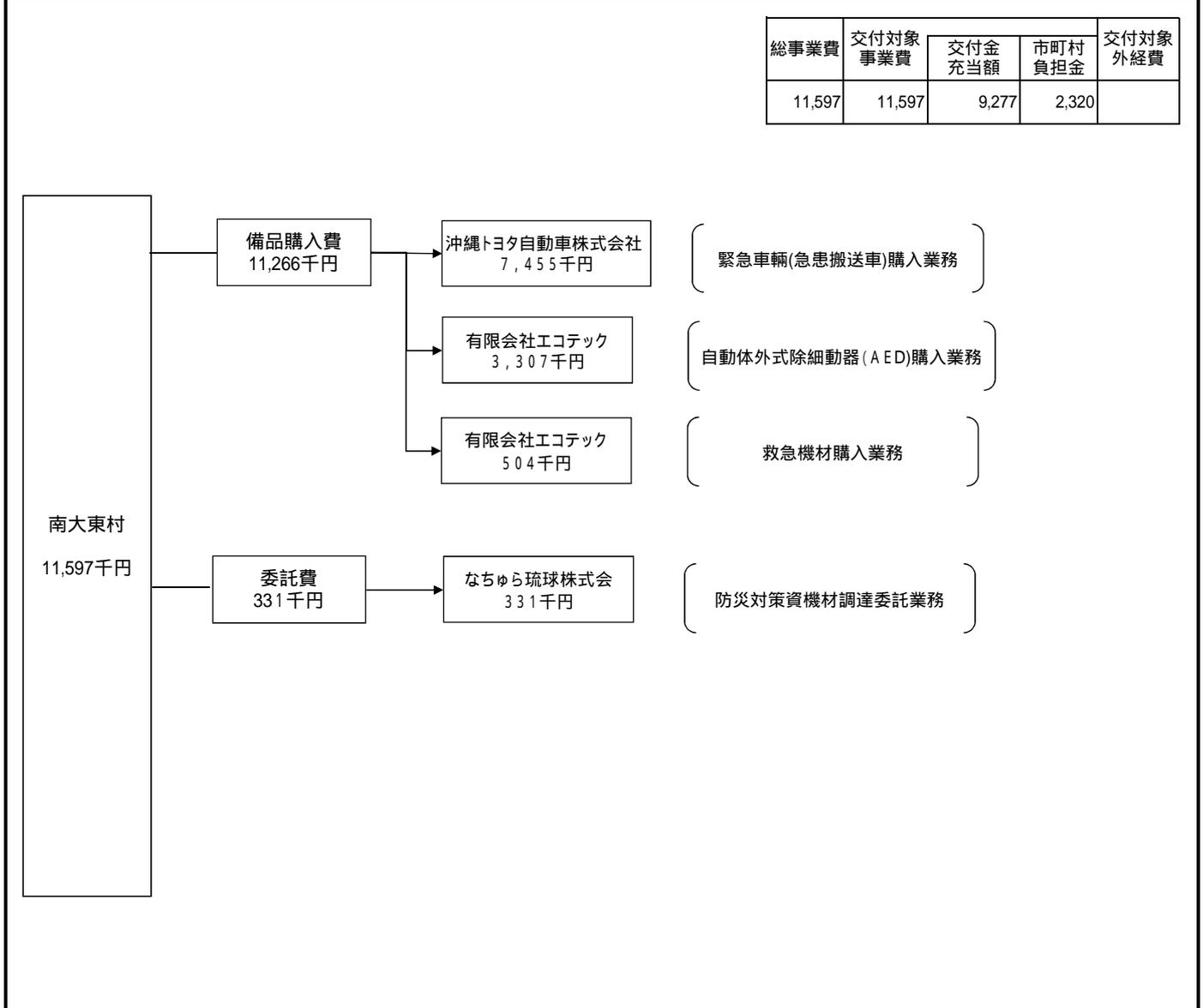
市町村名	南大東村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	南大東村救急対応整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)	
事業内容	緊急時の救命救急措置と診療所等への緊急搬送を迅速に行うため、島内の主要箇所にAEDの設置及び緊急搬送車両1台を整備する。また、感染症対策として初期対応による蔓延防止を図るため、感染症対策保護資機材を整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		12,720			
		(b)予算現額		11,597			
		(c)増減額(b-a)		1,123			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)		11,597			
	B.執行済額			11,597			
	うち交付金充当額			9,277			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		予算の執行において見積額の減、入札残により当初予算より1,123千円の減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	緊急搬送車両 1台整備 防護衣の整備 30着購入 AEDの設置 11台購入 消毒剤 1式購入	目標	()	緊急搬送車両 1台整備 防護衣の整備 30着購入 AEDの設置 11台購入 消毒剤 1式購入	()	()	
		実績		緊急搬送車両 1台整備 防護衣の整備 30着購入 AEDの設置 6台購入 消毒剤 1式購入			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	点在集落の避難施設について、利用頻度、施設施設管理等により見直した結果AEDの設置台数が、5台減少となった。また、予算作成時に見積を取った製品よりも実用性に優れた製品があったので仕様変更を行った結果、当初予算額で6台のみ購入することとなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 11台設置・運用開始 消毒剤 1式設置	目標	()	()	緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 11台設置・運用開始 消毒剤 1式設置	()	()
		実績			緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 6台設置・運用開始 消毒剤 1式設置		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	点在集落の避難施設について、利用頻度、施設施設管理等により見直した結果AEDの設置台数が、5台減少となった。また、予算作成時に見積を取った製品よりも実用性に優れた製品があったので仕様変更を行った結果、当初予算額で6台のみ購入することとなった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	救急車等特殊車両は自注発注製造になることから、製造に半年以上の日数を要すとのことで2業者指名を行ったが年度内納品ができない理由により1業者が入札辞退により、随意契約となった。	予算の作成段階から診療所医師との調整や他団体からの情報収集を密に行うことでより良い機材を導入できる。 機材の製作に係る時間を念頭に置いて入札に取り組むべき。

今後の取り組み方針

導入された資機材使用法を習得し有事に備える。主に村消防団(役場職員)が活用することになるので定期的に訓練を行い村民をはじめ、観光等で島に訪れた方々が安心して観光、生活できるよう努める。AEDに関しては、設置後に講習会を行ったが今後も定期的に住民に対しても講習会を開催し、出来るだけ多くの人が取り扱えるようにしたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者においては村内で実績のある事業者を選定し指名入札となった。緊急車輛、医療機材に関しては県内で実績のある業者を選定し指名入札となった。 費目・用途については診療所医師や消防団員において協議し事業目的達成の観点から必要と判断された。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 - 安心安全強化対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 10

事業内容
現在、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の耐震強化を図り、地震等、自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		4,725		
	(b)予算現額		6,825			
	(c)増減額(b-a)		2,100			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		6,825			
	B.執行済額		6,825			
	うち交付金充当額		5,460			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	概算設計積算を精査した結果積算額が過小であったため事業費を増額した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
屋内ゲ-トボ-ル施設(スパ-ク南大東)耐震強化事業の実施設計	目標	()	(設計一式)	()	()
	実績		設計一式		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	予定どおり委託設計業務がおこなわれた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			屋内ゲ-トボ-ル施設(スパ-ク南大東)耐震強化事業の実施設計	目標	()	()
	実績			設計一式		
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	設計業務報告がおこなわれた。次年度からの修繕費用が想定以上に費用を要するとの報告を受け修繕計画の再考を余儀なくされている。					

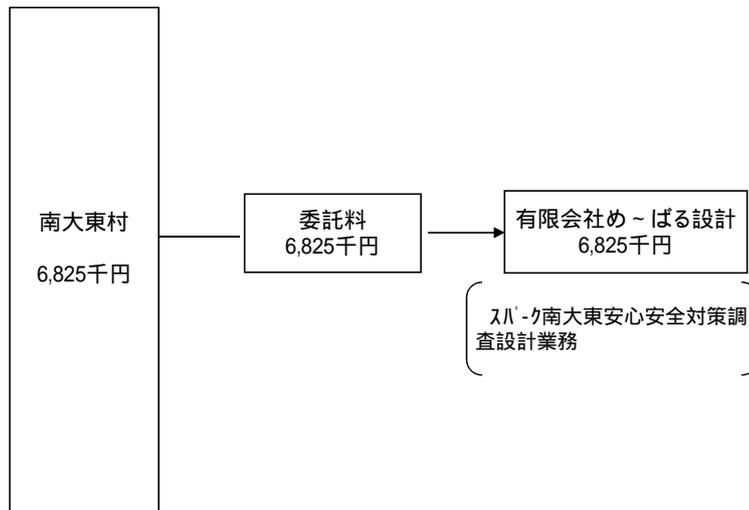
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現況施設は屋内ゲートボール場としての機能、使用されていることから次年度からの修繕期間の代替施設を求められている。	施設整備後は避難施設としての表示、機能も整備する必要がある。

今後の取り組み方針

施設整備後も現状利用を向上させる他、当該施設で競技可能なスポーツ、イベント等の利用を誘導する。また、災害発生時は、近隣住民、観光客等の避難施設としての活用する多目的施設として位置づける。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,825	6,825	5,460	1,365	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名委員会にて企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南大東村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4 -	人材育成派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成30年度	教育機会の拡充
			沖縄振興基本方針該当箇所	- 3

事業内容
子どもたちの多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を助成する

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		3,832		
	(b)予算現額		2,072			
	(c)増減額(b-a)		1,760			
	(d)繰越額		0			
	A.計(b+d)		2,072			
	B.執行済額		2,072			
	うち交付金充当額		1,658			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	当初予算で小学生8人、中学生98人を各大会派遣計画いたしました。児童生徒の参加人数が減少したため予算減となった。補助対象概算派遣費 2,303,120円 補助対象精算派遣額 2,072,808円 補助対象派遣費差引(個人負担金)230,312円				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	吹奏楽コンクール16名 童話・お話大会2名 アンサンブル・リコーダー11名 英語関係派遣6名 地区夏季・県中体連49名 地区陸上・駅伝大会22名	目標	() (106人) () ()		
	実績		85人		
		目標	() () () ()		
	実績				
達成状況説明	英語スリ・コンテスト 1人、第55回那覇地区中学校夏季総合体育大会 23人、第55回男子沖縄県中学校柔道競技大会 4人、平成25年度第5回スプリングコンテスト 3名、第53回沖縄県吹奏楽部コンクールBバト 13人、第55回那覇地区中学校陸上競技大会 7人、平成25年度那覇地区高円宮英語弁論大会 1人、那覇地区中学校駅伝大会 14人、第36回那覇地区中学校新人バドミントン競技大会 12人、第39回沖縄県吹奏楽部ソロコンテスト 2人、那覇地区中学校新人柔道大会 3人、柔道大会 2人				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			吹奏楽コンクール16名 童話・お話大会2名 アンサンブル・リコーダー11名 英語関係派遣6名 地区夏季・県中体連49名 地区陸上・駅伝大会22名 (参考指標)	目標	() () (106人) () ()	
	実績		85人			
	目標	() () () () ()				
	実績					
進捗状況説明	各種大会にむけた日頃の練習成果が出せた。 英語ストーリーコンテスト(優良賞) 夏季体育大会柔道(県大会出場決定) バドミントン男女シングル・団体戦参加 沖縄県柔道大会2回戦進出 スプリングコンテスト1回戦敗退 吹奏楽コンクール(優良賞) 那覇地区陸上(各自自己ベスト)走り高跳び5位 英語弁論大会優良賞 那覇地区駅伝 27位 新人バドミントン3回戦進出 吹奏楽ソロコンテスト銀賞 那覇地区新人柔道 優勝 新人柔道大会準優勝					

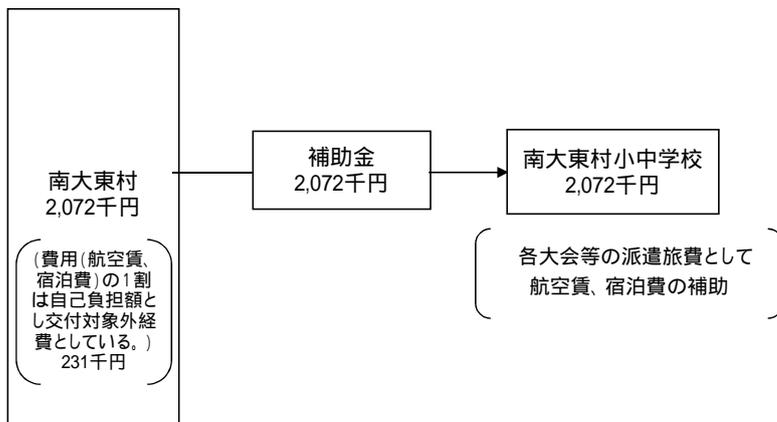
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	派遣費の実績の内 90%を補助 10%を個人負担としているが、児童生徒の派遣対象者が重なることから個人負担金に差がある。宿泊代に食事が含まれないことから、3泊から4泊になると、保護者負担が多くなっている。	派遣期間中の食事は全て外食となり費用について、補助対象経費として検討する。(育ち盛りの子どもの食事代は1食800円～1,000円程度になる。その費用の一部を補助検討する。)

今後の取り組み方針

本事業を活用することで児童生徒の派遣の幅が広がり、児童生徒の自信と目標設定ができ、目標とする子どもたちの多様な能力と心身の発達や育成を図ることができた。又 補助金を活用することで、保護者負担の軽減、児童生徒の参加意欲の向上が期待される。今後も個々の能力を十分に発揮できるように 学校から派遣申請のある児童生徒の派遣費を補助し、人事育成を推進する

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,303	2,072	1,658	414	231



資金の流 れ、点 検、費 目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	補助金先は南大東村立小中学校で児童生徒の島外で開催される各種大会の派遣旅費の補助金。 費目・使途については航空賃、宿泊費、費用の1割は自己負担し支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5 - 仮戸籍電算化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 - 3

事業内容
平成24年度に構築した戸籍総合システムに臨時戸籍簿(沖縄の特殊事情による戸籍)をセットアップし、滅失防止するとともに保管、管理の強化を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	28,613	10,188			
	(b)予算現額	19,178	4,863			
	(c)増減額(b-a)	9,435	5,325			
	(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)	19,178	4,863			
	B.執行済額	19,178	4,863			
	うち交付金充当額	15,342	3,890			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	平成24年度に構築した戸籍電算化システムへ臨時戸籍のセットアップ作業を行った。繰り越し分(充当外)については、除籍、改製原戸籍等のセットアップ作業。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	臨時戸籍情報のセットアップ作業	目標	(年度内システム稼働)	(年度内臨時戸籍セットアップ)	()	()
		実績	H24年3月25日システム稼働	平成25年3月27日システム稼働		
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	紙媒体で管理していた戸籍情報すべてを平成25年度で電算化。臨時戸籍、現在戸籍、現附票、除籍、徐附票、改製原戸籍(昭和・平成)特に臨時戸籍に関しては一部破損等もあり保存された状態も良くなかったが、電算化で現状で保管することができる。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			臨時戸籍情報の電算化により情報の滅失防止	目標	()	年度内システム稼働	年度内臨時戸籍セットアップ
		実績		年度内システム稼働	年度内臨時戸籍セットアップ		
	[参考指標]平成25年3月27日にて臨時戸籍セットアップ済み	目標	()	()	()	()	()
進捗状況説明	紙媒体で管理していた戸籍資料すべての電算化作業終了。						

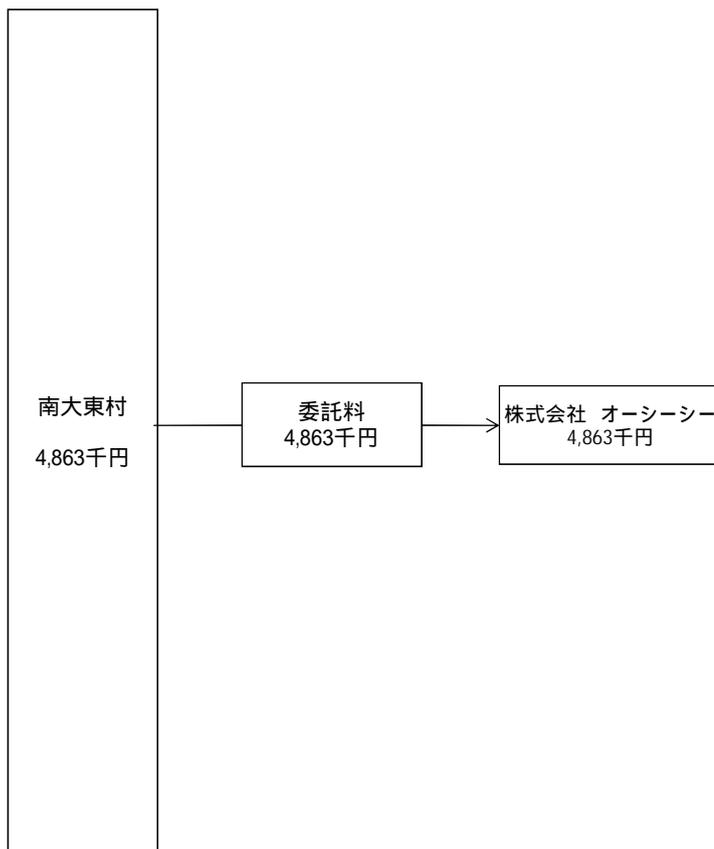
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	電算化作業がすべて終了し、紙媒体での管理上問題となっていた書類の保管状況が大きく改善された。 それに加え、戸籍情報の確認作業、証明書発行作業がスムーズに実施する事が可能となった。	電算化システムの管理を徹底し、データ紛失等の問題が発生しないように留意する。

今後の取り組み方針

法務局(国)との連携を密に行い、戸籍データの管理を徹底する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,863	4,863	3,890	973	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	戸籍電算化という特殊なシステムを受注、実施が可能な委託業者3社へ見積もりを依頼していたが、2社は実施不可とのことで辞退した為、残り1社の発注となった。(平成24年度の電算化事業に関連する) 予算規模、費目・用途については事業目的に沿った内容であり、積算精査・竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南大東村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 - 南大東村安らぎ空間整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (5) - イ		
	担当部課名	福祉民生課		事業実施（予定）年度	平成24年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決
事業内容		墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。					- 3
	実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）					
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度
	(a)当初予算額		30,000		34,561		
	(b)予算現額		30,000		36,015		
	(c)増減額(b-a)		0		1,454		
	(d)繰越額		-	26,310	-		
	A.計(b+d)		30,000	26,310	36,015		
	B.執行済額		3,690	26,310	36,015		
	うち交付金充当額		2,956	21,044	28,812		
	次年度繰越額		26,310	0	0		
	執行率(%) (B/A)		12.3%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		当初予算では施工管理委託業務の予定はありませんでした。事業執行時において施工管理の必要性により委託業務費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	舗装・路盤工(駐車場3カ所・車道:1箇所)排水溝:114m擁壁工4箇所(93m)の整備	目標	(測量調査実施設計)	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車道:1カ所)排水工114m擁壁工4箇所(93m)の整備	()	()	()
		実績	測量調査実施設計	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車道:1カ所)排水工114m擁壁工4箇所(93m)の整備			
	目標	(-)			()	()	
	実績	-					
達成状況説明	平成25年度は、平成24年度事業の実施設計に基づき、南大東村霊園墓地整備事業の駐車場整備、車路整備、排水溝整備、擁壁工整備等の一部の工事を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	南大東村霊園墓地整備事業のうち駐車場整備、車路整備、排水溝整備、擁壁工整備等の一部の工事を実施することができた。	目標	()	(測量調査実施設計)	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車道:1カ所)排水工114m擁壁工4箇所(93m)の整備	()	()
		実績	/	測量調査実施設計	舗装・路盤工(駐車場:3カ所・車道:1カ所)排水工114m擁壁工4箇所(93m)の整備	/	/
	目標	(-)	()	()	()	()	
	実績	/	/	/	/	/	
進捗状況説明	南大東村霊園墓地整備事業の一部の工事整備の完了。墓地区画事業のうち駐車場整備、車路整備、排水溝整備、擁壁工整備等の一部整備が完了した。						

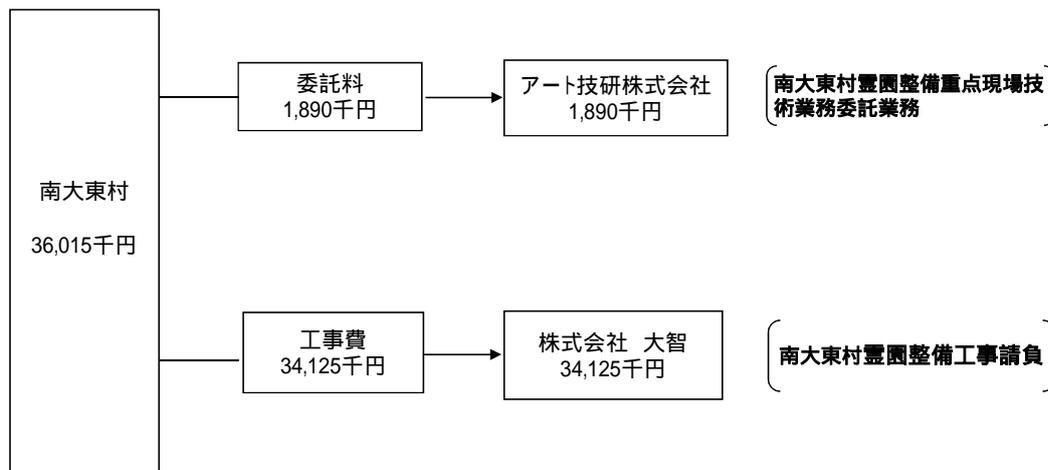
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	課題点:墓地整備事業を整備、推進しながら既存墓(地主)との整合性が課題である。また、無縁墳墓の移動については法律に基づいて手続きを行う。課題	題解決:南大東村の実情に合った墓地整備事業の整備を推進しながら地主との調整を行うことで課題解決ができた。また、無縁墳墓に関しても平成26年度6月に官報に掲載する予定。墓次年度も実情に合った墓地整備を整えた

今後の取り組み方針

平成25年度より墓地区画事業に沿って舗装・路盤工(駐車場3ヵ所・車道:1箇所):排水溝:114m:擁壁工4箇所(9.3m)の整備を完了することができた。今後の取り組みは、合同墓の整備、エントランス広場の整備に取り組みたい。また、無縁墳墓についても法的手続きが完了次第、墓地区画事業に沿って整備する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,015	36,015	28,812	7,203	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者の選定は、村への指名参加名簿より企業組織、実績、知識等を指名競争入札委員会で適正に審査しております。 予算規模、費目・用途については事業目的に沿った内容であり、積算精査・竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		